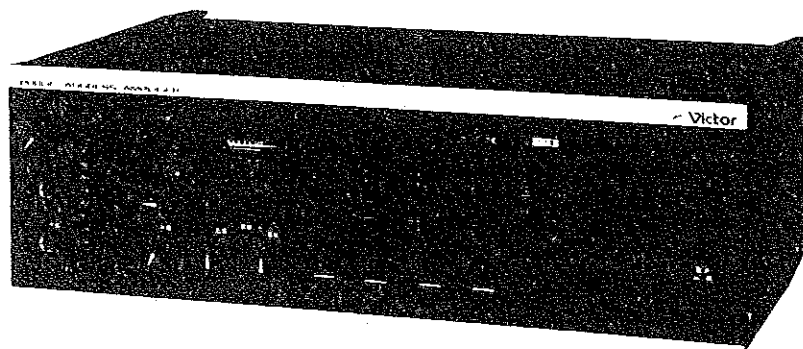




PTA-503/506/512
PTA-503R/506R/512R
PTA-1000B

システムアンプ



写真はPTA-512R

—お買い上げありがとうございます—

ご使用前にこの“取扱設置説明書”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

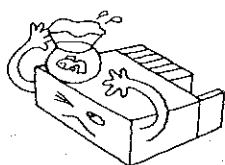
このたびは、ビクター HI-FI 音響装置“システムアンプシリーズ”をお買上げいただきありがとうございます。

特長

- 新しいデザインにボリューム操作が明確なスライドボリュームを使用。
- マスターボリュームは節度のあるクリック機構付で操作性が一段と向上。
- 別売のワイヤレスユニット及び4音エレクトロチャイム組込み可能。
- 内部ボリュームの調整によりマイク-1が優先となりますので呼出し放送に便利です。
- 豊富な入力群によりシステムアップが可能です。
- テープ/外部-1入力端子は前面にあり便利です。
- 信頼できる大型アルミダイキャスト製放熱板を使用。
- 軽量設計により、移動も容易です。

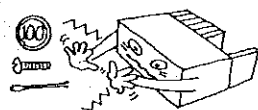
使用上のご注意

●水がかからないように



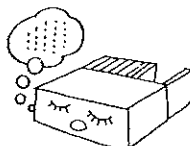
ぬれた手で使用しないでください。万一内部に水が入った場合はすぐ電源を切り、購入店にご連絡ください。

●異物は感電や故障の原因になります



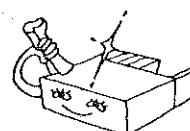
本機の内部に金属物が入ると感電や故障の原因となります。万一金属物が入った場合は、すぐ電源を切り、購入店にご連絡ください

●本機に異常があるときは



使用中突然、音が出なくなるなど、異常が生じた場合はただちに電源を切り、購入店にご連絡ください。

●本機の清掃は



ケース外部の汚れは乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは水で布をしめすか、石けん水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

<ご注意>スピーカの接続、リモコンマイクの接続、別売のワイヤレスユニット及び4音エレクトロチャイムを組込む場合又は、マイク-1を優先に調整する場合は、必ず購入店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

◆本機は日本国内専用です。必ず商用電源 AC100V, 50Hz/60Hz でお使いください。

保証とアフターサービスについて

◆保証の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

◆保証期間について

保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

◆アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。

◆修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の接続についてお調べください。それでも具合が悪いときは、ACコンセントを抜くか分電盤を切って次のことをお知らせください。

- ・機種名：
- ・故障の状態をできるだけ詳しく
- ・ご購入年月日 ご住所 ご氏名 電話番号

前面の名称と働き

音質調節

音質調節

低音

高音



(右に回すと低音増強)
左に回すと低音減少

(右に回すと高音増強)
左に回すと高音減少

フィルタ

SEA入

低音
カット

高音
低音カット

切

PTA-1000Bのみ

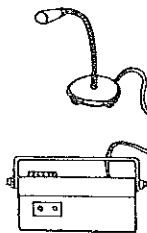
出力レベルメータ

出力レベルを表わします。

マイク-1音量調節

右に回すと大きくなります。

※注1,3



※注1,3

テープ/外部-1音量調節

このつまみを上下に動かすことにより接続してあるデッキまたはラジオカセット等の音量を調節できます。

スピーカ選択表示

この取扱説明書に印刷されている「スピーカ選択の表示」用の部分を切り取ってご使用ください。

チャイム
(別売)

電源スイッチ

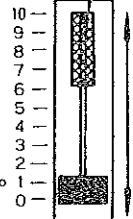
「入」に押すと電源が入ります。

添付のポリリュームストッパー

適当に切って使用します。

マイク-2,マイク-3音量調節

このつまみを上下に動かすことにより、マイク-2、マイク-3入力に接続してあるマイクの音量をそれぞれ大きくしたり、小さくしたりできます。

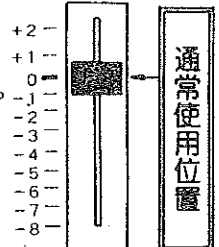


レコード音量調節

このつまみを上下に動かすことにより音量を大きくしたり、小さくしたりできます。

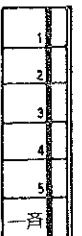
主音量調節

このつまみを上下に動かすことにより接続してあるすべての音量を調節できます。

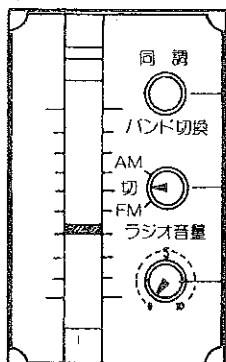


スピーカ回線 選択スイッチ

- 回線別に放送したいとき1~5を押す。
- 一斉に放送したいときは「一斉」を押す。



ラジオユニット (PTA-503R, PTA-506R, PTA-512R)



同調つまみ

ダイヤル指針を見ながらつまみを回して局を選びます。

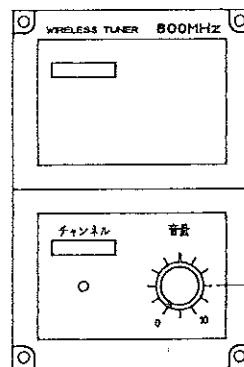
バンド切換つまみ

「AM」または「FM」に合わせます。

ラジオ音量調節つまみ

このつまみを右に回すと音量が大きくなります。

ワイヤレスユニット (WT-U83シリーズ + WT-P811) 別売



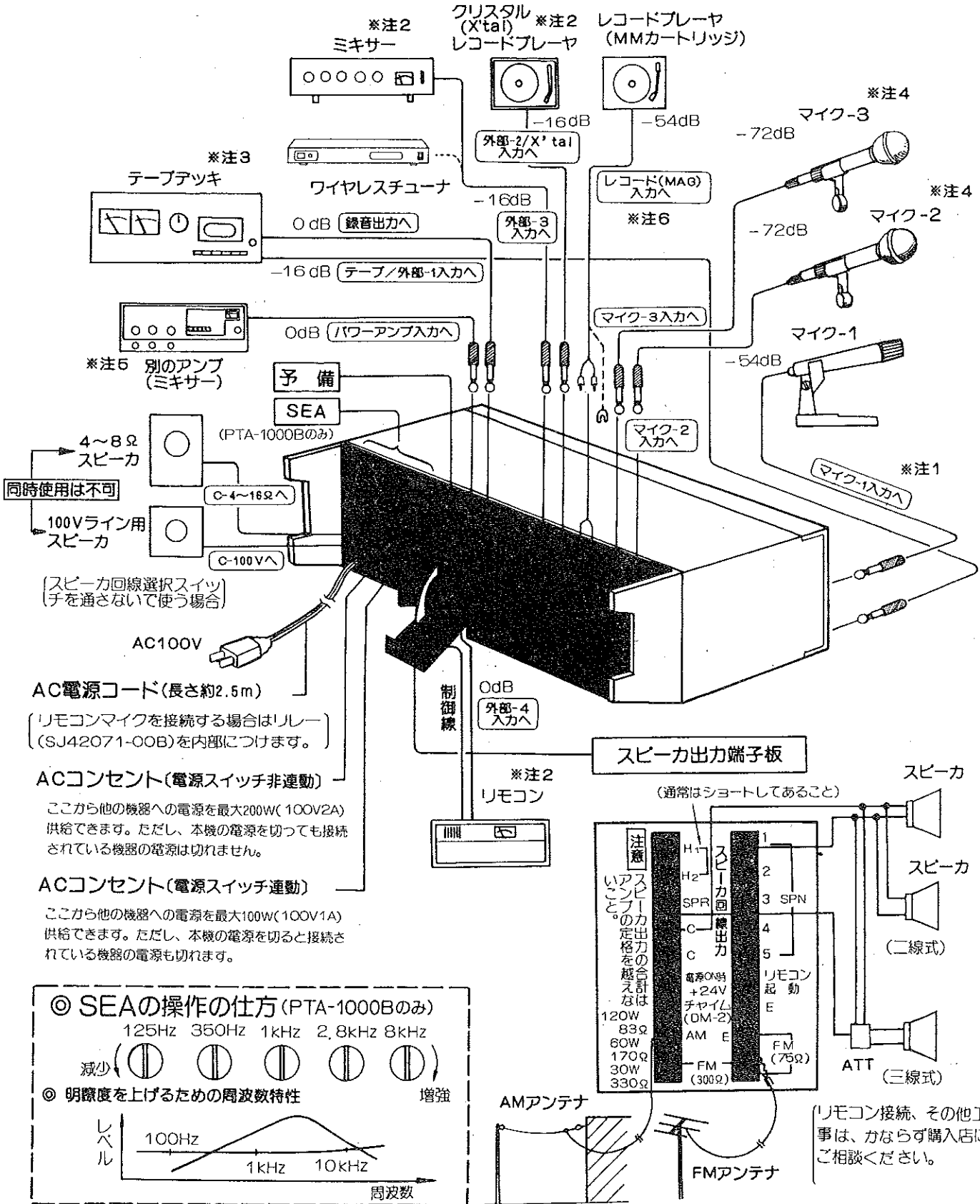
ワイヤレス音量調節つまみ

このつまみを右に回すと音量が大きくなります。

図はWT-U83+WT-P811を示します。

背面の名称と接続について

- ◎設置場所……湿気の多い場所や熱気のある場所での使用はできるだけ避けて、通風の良い場所に置いてお使いください。
- ◎ハウリング対策……音量調節を上げて、ハウリング(キーン、ホーンという音)が発生し、十分に音量が出せない場合は、マイクやスピーカの位置をかえてみてください。音量調節を上げすぎないように、添付のポリウムストッパーを適当に切って、スライドボリューム溝に入れてご使用ください。



◎ SEAの操作の仕方 (PTA-1000Bのみ)

125Hz 350Hz 1kHz 2.8kHz 8kHz

減少 (●) (●) (●) (●) (●) 増強

◎ 明瞭度を上げるための周波数特性

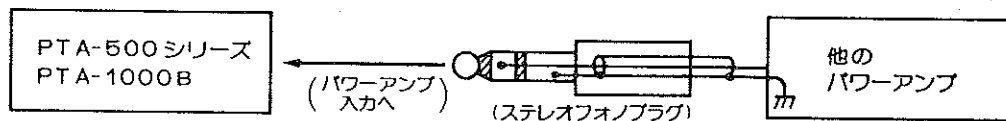
レベル

100Hz 1kHz 10kHz

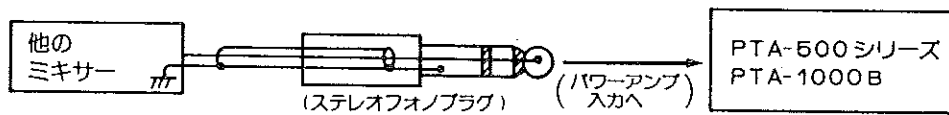
周波数

- 注1 内部ボリュームの調整により「マイク-1」で放送すると、「テープ/外部-1」の入力以外は音量が小さくなり、放送終了後自動的に元の音量にもどります。(ミュートイング：出荷時はミュートイングが動作しないように調整されています。)
- 注2 背面の「外部-2,3,4」入力には音量調節器が付いていませんので、接続した機器側で調節してください。
- 注3 背面の録音出力端子を使用する場合、「マイク-1」と「テープ/外部-1」は録音されません。尚、テープデッキのINPUT (REC)、OUTPUT (PLAY) を、本機に同時に接続して使用する場合、OUTPUT (PLAY) を「テープ/外部-1」以外に接続すると、発振する場合がありますのでご注意ください。
- 注4 PTA-503,506,512,503R,506R,512Rの背面にある「マイク-2,3」の入力は不平衡になっていますので、マイクコードを長く延ばす場合(100m以上)は、平衡型にしてください。(詳細は、ご購入店またはビクターサービス窓口にご相談ください。)
- 注5 背面の「パワーアンプ入力」端子は、下図のような使い方ができます。

① 本機をミキサーとして使用する場合



② 本機をパワーアンプとして使用する場合



③ SEA等を使用する場合



注6 レコードプレーヤーにアースワイヤーがある場合は、スピーカ出力端子板内の「E」という表示の端子に接続してください。

ご注意

フオノプラグの接続の際、雑音発生、不鳴りの原因になりますので、完全に奥までさし込む様に充分ご注意ください。

定 格

項 目	型 名	PTA-503	PTA-503R	PTA-506	PTA-506R	PTA-512	PTA-512R	PTA-1000B
電 源		AC 100V 50/60Hz						
定 格 出 力		30W		60W		120W		120W
消 費 電 力		⊕ 29W	⊕ 30W	⊕ 48W	⊕ 49W	⊕ 78W	⊕ 79W	⊕ 82W
周 波 数 特 性		50~20,000Hz ±3dB						
ひ ず み 率		0.5%以下 (定格出力時1KHzにて)						
音 質 調 節		100Hz, 10KHzにて±10dB以上 (1KHz基準)						
スピーカ回線制御器		5回線+一音						
主 音 量		クランク付ボリューム						
ワイヤレスユニット		WT-U83シリーズ (別売) + WT-P811 組込可						
入 力 回 路	マイク-1	-54dBs 200Ω~20KΩ 適合 不平衡						
	マイク-2,3	-72dBs 200Ω~20KΩ 適合 不平衡						
	レコード	-54dBs 50KΩ (MAG用)						
	テープ/外部-1	-16dBs 100KΩ 不平衡						
	X'tal外部-2	-16dBs 100KΩ 半固定VR付 不平衡						
	外部-3	-16dBs 100KΩ 半固定VR付 不平衡						
	外部-4	0dBs 50KΩ (リモコン入力) (優先回路)						
	パワーアンプ入力	0dBs 10KΩ (プリアンプ出力 0dBs 300Ω)						
出 力 回 路	録音出力	0dBs 300Ω						
	スピーカ出力	330Ω(100V)		170Ω(100V)		83Ω(100V)		83Ω(100V)
	インピーダンス	4Ω		4Ω		4Ω		4Ω
寸 法	幅420mm 高さ137mm 奥行261mm							
重 量	約6kg		約6.7kg		約8.1kg		約8.4kg	
仕 上	パネル：アルミ塗装印刷；カバー：鋼板塗装；放熱板：アルミ塗装							

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

○ラジオ部

受信周波数	FM：76~90MHz AM：530~1605KHz	アンテナ入力	FM：75Ω不平衡または300Ω平衡 AM：外部アンテナ	中間周波数	FM：10.7MHz AM：455KHz
-------	-------------------------------	--------	---------------------------------	-------	-------------------------

添付物

- 取扱設置説明書..... 1
- ピクチャーサービス窓口案内..... 1
- 保証書..... 1
- 単頭プラグ..... 2
- ボリュームストッパー..... 1

設置説明書

工事の前にこの説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

設置工事の前に

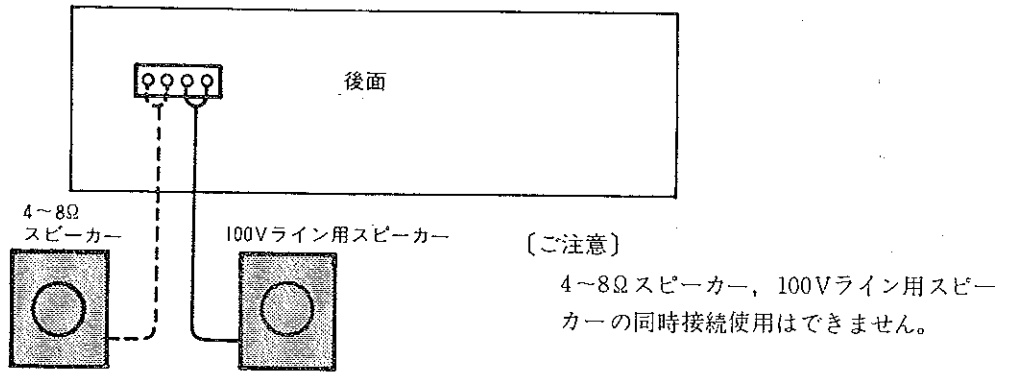
仕様内容によって、本機の改造又はユニットの追加が必要になります。各種接続は、必ず設置業者の方又はご販売店様の手で行ってください。また工事の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

設置上のご注意

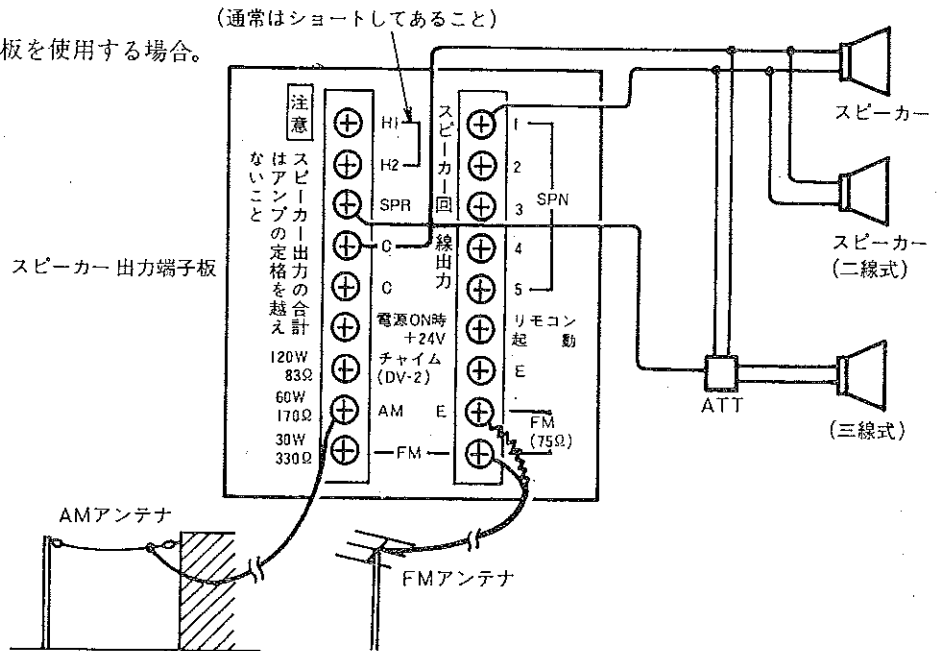
- (1) 日光の当たるところや温風が出るところは避けてください。
- (2) アースは必ず接続してください。
- (3) 工事は必ず購入店で実施してください。

スピーカの接続について

- ① スピーカー回線選択スイッチを通さないで使う場合。



- ② スピーカー出力端子板を使用する場合。



ワイヤレスチューナーユニットの接続について (ワイヤレスチューナーユニットは別売です)

WT-U83シリーズ+WT-P811のワイヤレスチューナーユニットの組込みは下図のようにしてください。

後面

⑤ F接栓を固定 ⑥

ブリシャーシの穴 (アンテナワイヤ)

(電源, 信号ワイヤ)

基板 (ミキシングユニット)

④

前面

③

空白パネル

CN11のコネクタ(3P)をCN11-1又はCN11-2に差し込む

ワイヤレスチューナーユニットの止めネジ(4本)

〈順序〉

- ① 本機のカバーをとる。
- ② 前面の空白パネルをとる。
- ③ ワイヤレスチューナーユニットを取付ける。
- ④ CN11を接続する。
- ⑤ アンテナワイヤ(F接栓付)をブリシャーシの穴を通して放熱板に付ける。
- ⑥ F接栓を固定する。
- ⑦ カバーをつける。

ワイヤレスアンテナを接続し、受信状態を確認する。
ワイヤレスチューナーユニットに添付の取扱設置説明書も参照ください。

4音チャイムの接続について

DM-2(4音チャイム)を下図のように指定場所に組込んでください。

⑦

フロントパネル

基板

本体左側

②

シールド線

マイク-1の基板へ (信号出力)

パワー基板へ

⑤

黒

赤

⑥

プッシング

④

パワー基板

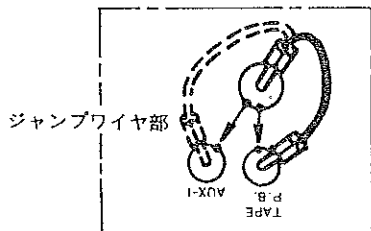
本体右側

③

〈順序〉

- ① 本機のカバーをとる。
- ② 電源、信号出力ワイヤ(4P)とスイッチワイヤ(2P)をDM-2の基板のコネクタに接続する。
- ③ チャイムユニットを本機の底板の穴を利用し固定する。
- ④ システムアンプパネルのブッシングをはずす。
- ⑤ スイッチをパワー基板の所定位置にハンダ付けする。(ネジで固定しなくてよい)
- ⑥ 電源用ワイヤ赤、黒をパワー基板の所定位置にハンダ付けする。
- ⑦ 信号用シールド線をマイク-1基板の所定位置(DM-2, E)にハンダ付けする。
- ⑧ ワイヤが長いのでクランプをし整理する。(初めからワイヤーを適度な長さにした方がよい)
- ⑨ ミューティングをかけたい場合は、VR92を調整しミューティングを適度にかける。(「ミューティングをかけるには」の項参照)
- ⑩ 本機のカバーをかける。

テープ再生／外部-1からの入力を録音するには



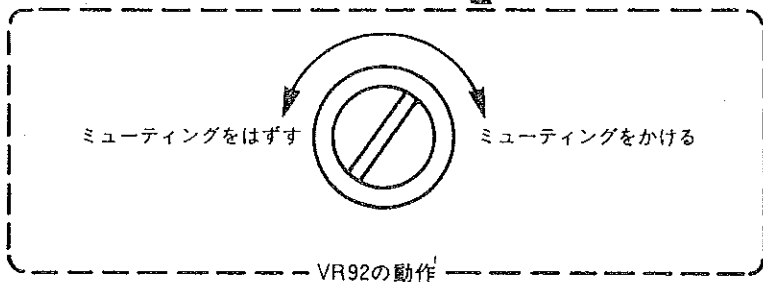
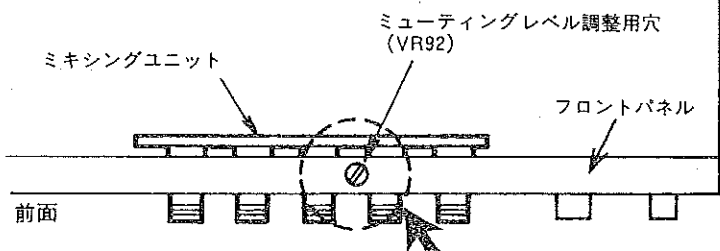
〈順序〉

- ① ミキシングユニットに「テープ再生」へのジャンプワイヤがあります。これを「AUX-1」に接続しなおします。但しこの場合テープレコーダの録音、再生とも接続し音量をあげますと発振することがあります。
- ② この変更によりテープ再生／外部-1はミューティングがかかります。

ミューティングをかけるには (呼出機能優先回路)

本機ではマイク呼出し機能を充実させるため、マイク-1、4音チャイムの入力があるとテープ再生／外部-1を除く他の入力に対してミューティングをかけることができます。又外部-4をリモコン側に接続すると、これもマイク-1と同様な優先回路となります。

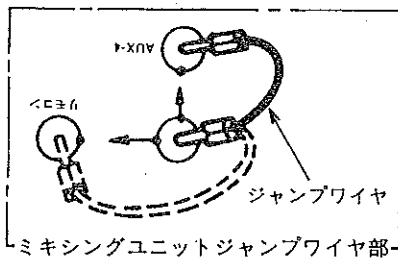
[1] マイク-1と4音チャイムを優先の場合



〈順序〉

- ① 本機のカバーをとる。
- ② ミューティングレベル調整用穴からドライバーを通し、半固定ボリューム (VR92) を、時計方向に回すとミューティングがかかるので確認しながら適当な位置まで回します。

(2) 外部-4を優先する場合

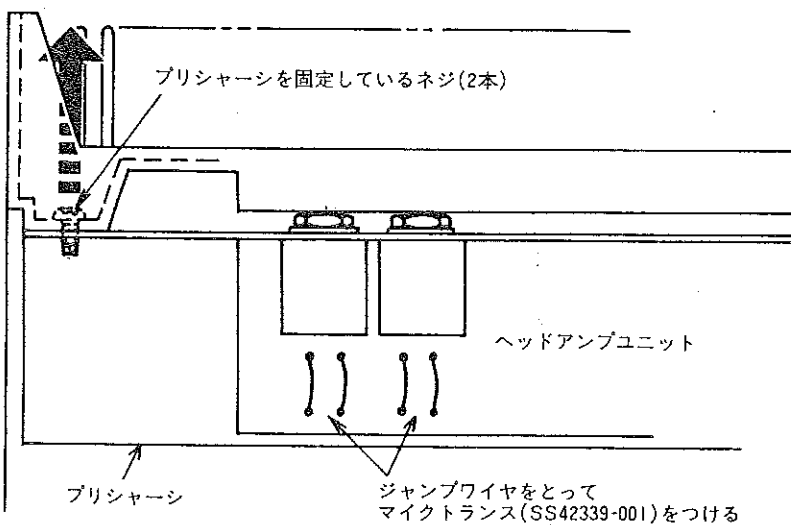


〈順序〉

- ① 本機のカバーをとる。
- ② ミキシングユニットのジャンプワイヤを「AUX-4」から「リモコン」にうつす。
- ③ ミューティングレベルを調整する。

マイクランスを付けるには (PTA-1000Bは組込済)

マイクコードが長く(約10m以上)なる時マイクランスを付けます。

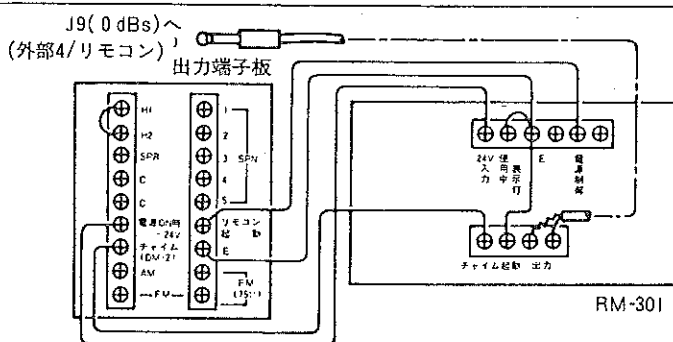


〈順序〉

- ① ヘッドアンプシャーシを固定しているネジ(2本)をとる。
- ② ヘッドアンプユニット(基板)をはずす。
- ③ ジャンプワイヤをとってマイクランス(SS42339-001)をつける。

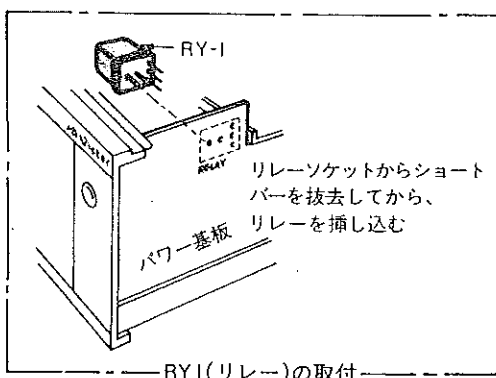
PA-C330シリーズの接続について

(1) 一斉リモコン (PA-C331の接続)



〈順序〉

- ① パワー基板へRY1 リレー SJ42071-00B:別売 (オムロンMY4ソケットタイプDC24Vとクランプ) をつける。
- ② RM-301と本機を接続する。尚DM-2(4音チャイム)は「4音チャイムの接続について」の項を参照願います。



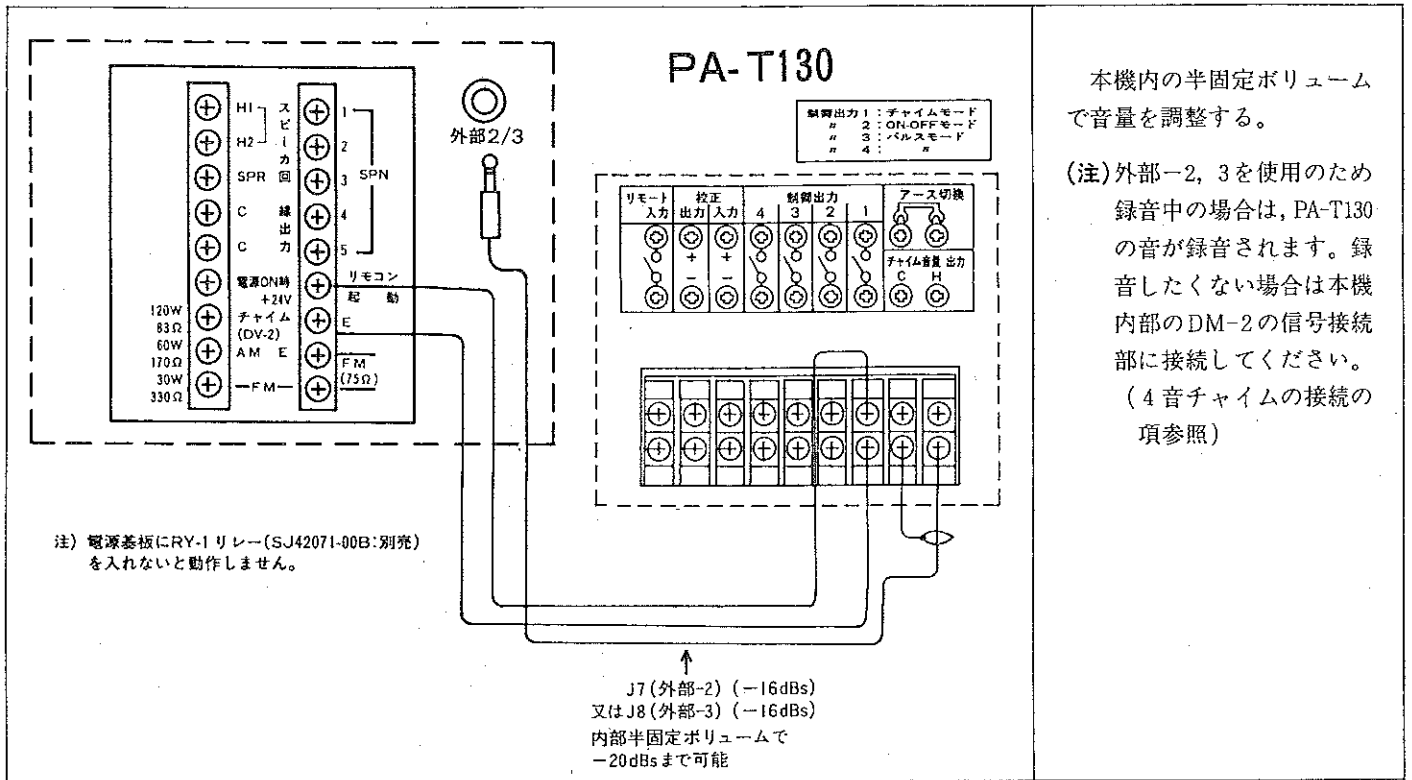
(2) 回線別リモコン (RM-305, 310の接続)

系統リモコンするためには

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> RB-51/PA-X23(回線別リレーボックス) PA-C332/C333 リレー(SJ42071-00B:別売) (オムロンMY-4ソケットタイプ) DC24Vとクランプ DM-2(4音チャイム) | <p>が必要です。</p> <p>(DM-2はチャイム音が
必要な場合のみ必要)</p> |
|--|--|

詳細はビクターサービス窓口へご相談ください。

PA-T130との接続について



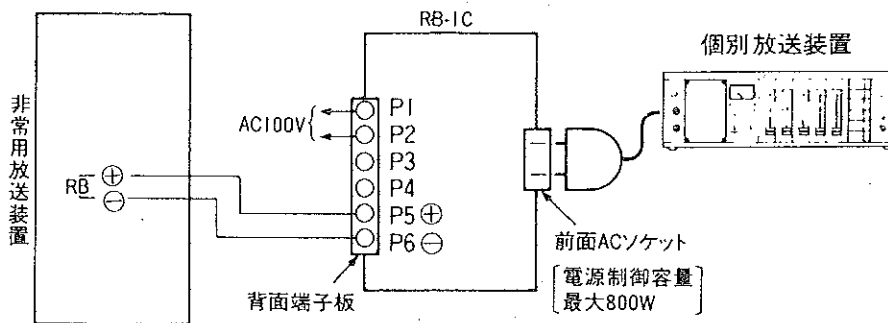
本機内の半固定ボリュームで音量を調整する。

(注)外部-2, 3を使用のため録音中の場合は、PA-T130の音が録音されます。録音したくない場合は本機内部のDM-2の信号接続部に接続してください。(4音チャイムの接続の項参照)

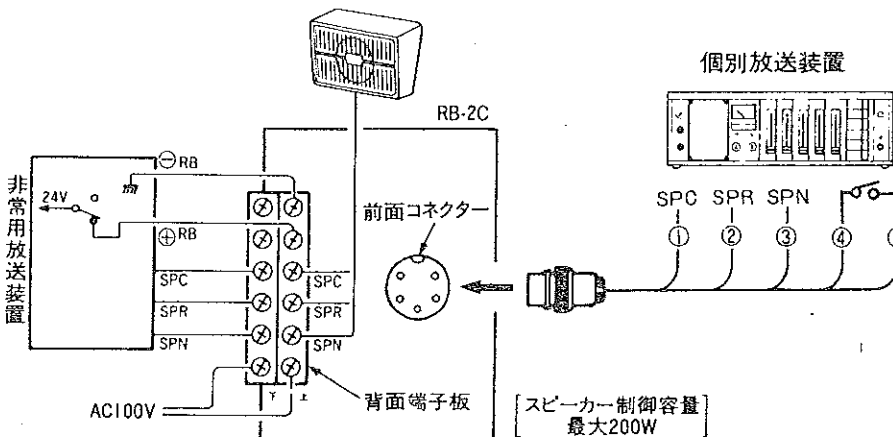
非常放送時の遮断を行なう時

PTA-500シリーズ, PTA-1000Bの電源を遮断する方法と信号を遮断する方法があります。

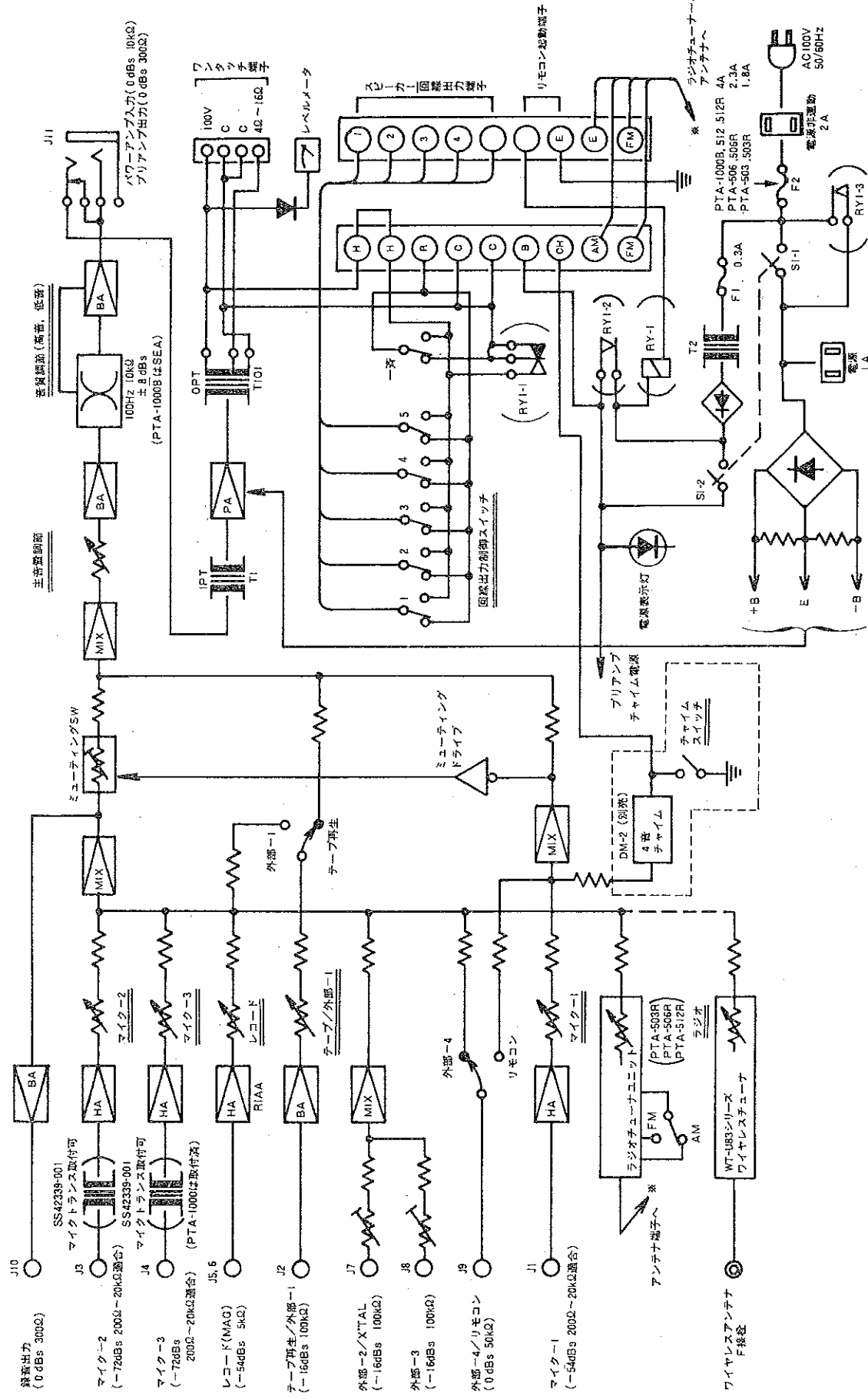
電源を遮断する方法



スピーカーを非常用と兼用する方法

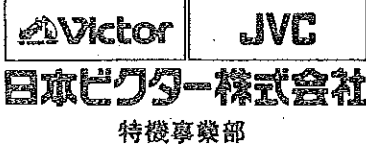


ブロックダイアグラム



- 注) ① 4音チャイルド(DM-2)、ワイヤレスチューナー WT-U83シリーズ+WT-P811(パネル)は別売です。
 ② リレレー(RY-1) SJ42071-00Bを組み込めばリモートコントロール(PA-C331)が接続できます。
 ③ 外部4入力を内部ジャンパにて「リモコン」側に切り換えればマイク-1と同様に優先回路になります。
 ④ テープ再生/外部-1入力は出荷時優先回路となっていますが、内部ジャンパにて「外部-1」側に切り換えれば、マイク-2,3レコードなどと同じ非優先回路となります。
 ⑤ パワーアンプ入力ジャックはステレオ用でコントロール側にプリアンプ出力が、ホット側にはパワーアンプ入力が接続されていますので、この間にエコーユニットなどの挿入が可能です。
 ⑥ 録音出力はマスターVRの位置に関係なく録音できます。

PTA-503, 506, 512 } ブロックダイアグラム
 PTA-503R, 506R, 512R }
 PTA-1000B



所在地 〒192 東京都八王子市石川町 2969 番地 2 号 電話 (0426) 42-4111 (代表)
 お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター
 〒100 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 4 号 電話 (03) 580-2861